

2020年10月

プレセデックス®静注液 200  $\mu$ g 「マルイシ」  
プレセデックス®静注液 200  $\mu$ g/50mL シリンジ 「マルイシ」  
販売中止のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社製品『プレセデックス®静注液 200  $\mu$ g 「マルイシ」』及び『プレセデックス®静注液 200  $\mu$ g/50mL シリンジ 「マルイシ」』につきまして、長年にわたりお引き立て頂きましたが、この度ファイザー株式会社との製品供給、共同開発及びマーケティングに関する契約期間の満了に伴い、2021年3月31日をもちまして販売を終了させていただくことをご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

【販売中止品目】

統一商品コード	品名	包装	薬価
211-720001	プレセデックス®静注液 200 $\mu$ g 「マルイシ」	2mL×5 バイアル	3,559 円/瓶
211-720025	プレセデックス®静注液 200 $\mu$ g/50mL シリンジ 「マルイシ」	50mL×5 シリンジ	3,487 円/筒

(薬価：2020年10月1日現在)

【経過措置期間満了日】

2022年3月31日(予定)

【代替品目 (同一成分薬)】 一般名称：デクスメデトミジン塩酸塩

代替品名	剤型	先発・後発区分	薬価
プレセデックス®静注液 200 $\mu$ g 「ファイザー」	バイアル	先発医薬品	3,441 円/瓶
プレセデックス®静注液 200 $\mu$ g/50mL シリンジ「ファイザー」	シリンジ	先発医薬品	3,645 円/筒
デクスメデトミジン静注液 200 $\mu$ g 「サンド」	バイアル	後発医薬品	1,629 円/瓶
デクスメデトミジン静注液 200 $\mu$ g 「ニプロ」	バイアル	後発医薬品	1,629 円/瓶
デクスメデトミジン静注液 200 $\mu$ g/50mL シリンジ 「ニプロ」	シリンジ	後発医薬品	2,030 円/筒

(薬価：2020年10月1日現在)

【代替品の効能・効果、用法・用量について】

先発医薬品および後発医薬品において、一部用法・用量が異なります。

先発医薬品	後発医薬品
プレセデックス®静注液 200 $\mu$ g 「ファイザー」 プレセデックス®静注液 200 $\mu$ g/50mL シリンジ 「ファイザー」	デクスメデトミジン静注液 200 $\mu$ g 「サンド」 デクスメデトミジン静注液 200 $\mu$ g 「ニプロ」 デクスメデトミジン静注液 200 $\mu$ g/50mL シリンジ 「ニプロ」
<p>【用法・用量】（一部抜粋）</p> <p>1.集中治療における人工呼吸中及び離脱後の鎮静                      通常、成人には、デクスメデトミジンを 6 <math>\mu</math>g/kg/時の                      投与速度で10分間静脈内へ持続注入し(初期負荷                      投与)、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベ                      ルが得られる様、維持量として 0.2~0.7 <math>\mu</math>g/kg/時                      の範囲で持続注入する(維持投与)。また、維持投与                      から開始することもできる。</p> <p><u>通常、6歳以上の小児には、デクスメデトミジンを</u>  <u>0.2 <math>\mu</math>g/kg/時の投与速度で静脈内へ持続注入し、</u>  <u>患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる</u>  <u>様、0.2~1.0 <math>\mu</math>g/kg/時の範囲で持続注入する。</u></p> <p><u>通常、修正在胎（在胎週数+出生後週数）45週以上</u>  <u>6歳未満の小児には、デクスメデトミジンを</u>  <u>0.2 <math>\mu</math>g/kg/時の投与速度で静脈内へ持続注入し、</u>  <u>患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる</u>  <u>様、0.2~1.4 <math>\mu</math>g/kg/時の範囲で持続注入する。</u>                      なお、患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速                      すること。</p>	<p>【用法・用量】（一部抜粋）</p> <p>1.集中治療における人工呼吸中及び離脱後の鎮静                      通常、成人には、デクスメデトミジンを 6 <math>\mu</math>g/kg/時                      の投与速度で10分間静脈内へ持続注入し(初期負荷                      投与)、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベ                      ルが得られる様、維持量として 0.2~0.7 <math>\mu</math>g/kg/時                      の範囲で持続注入する(維持投与)。また、維持投与                      から開始することもできる。なお、患者の状態に                      合わせて、投与速度を適宜減速すること。</p>

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については各製品の添付文書をご参照ください。

以上

 丸石製薬株式会社

【資料請求先・製品情報お問い合わせ先】

丸石製薬株式会社 学術情報部

〒538-0042 大阪市鶴見区今津中2-4-2

TEL. 0120-014-561